

2020 年度 カレントアウェアネス・ポータル利用者アンケート

結果報告

カレントアウェアネス・ポータルでは、2020 年度の利用者アンケートを実施しました。みなさまからお寄せいただいた回答の集計結果及び自由記述の設問に対していただいたご意見、ご要望等を以下のとおりご報告します。なお、ご意見、ご要望等については、意図を損なわない範囲で表現を変更しております。また、内容が重複するものは集約・整理の上で掲載させていただきました。ご了承ください。

目 次

本文中で使用している略称一覧と各コンテンツの説明	2
1. アンケート概要	3
2. 利用者像:年齢、職業、海外からの利用、利用年数など	3
3. どのように利用されているか(利用頻度、利用状況、利用媒体、利用コンテンツ)	6
4. CA ポータル及び各コンテンツへの満足度	8
5. カレントアウェアネス・ポータルへのご意見など	11

本文中で使用している略称一覧と各コンテンツの説明

CA-R	「カレントアウェアネス-R」： 図書館及び図書館情報学に関する最新情報を簡潔に紹介するブログです。 ・インターネット上に公開された情報源にもとづいています。 ・CA-E、CA、調査研究のための情報収集活動の成果という側面も持ちます。 ・毎営業日「カレントアウェアネス・ポータル」に掲載します。 カレントアウェアネス-R タイトル一覧 カレントアウェアネス-R RSS (https://current.ndl.go.jp/car-rss)
CA-E	『カレントアウェアネス-E』： 図書館及び図書館情報学に関する最新ニュースをコンパクトに提供するメールマガジンです。 ・原則月 2 回（木曜日）、ご登録いただいたメールアドレスに配信します。 ・バックナンバーを「カレントアウェアネス・ポータル」に掲載します。 カレントアウェアネス-E タイトル一覧 カレントアウェアネス-E 配信登録 カレントアウェアネス-E RSS (https://current.ndl.go.jp/cae-rss)
CA	『カレントアウェアネス』： 図書館及び図書館情報学における、国内外の近年の動向及びトピックスを解説・レビューする情報誌です。 ・年 4 回（3、6、9、12 の各月の 20 日）刊行します。 ・冊子で刊行するほか、バックナンバーの html 版を「カレントアウェアネス・ポータル」に、冊子の PDF 版を「国立国会図書館デジタルコレクション」に掲載します。 カレントアウェアネス タイトル一覧 カレントアウェアネス RSS (https://current.ndl.go.jp/ca-rss)
調査研究	図書館及び図書館情報学に関する調査研究： 国立国会図書館が実施した図書館に関する調査研究事業およびその成果物です。 ・「図書館調査研究リポート」、「図書館研究シリーズ」として報告書を刊行するほか、オンラインのみで公開する成果物もあります。 調査研究 RSS (https://current.ndl.go.jp/research-rss)
CA ポータル	「カレントアウェアネス・ポータル」： CA-R、CA-E、CA、調査研究を掲載するウェブサイトです。 ・英語版もあります。英語版 CA ポータルでは、一部の記事を英語に翻訳して掲載しています。 ・災害に関する記事をまとめたページを開設しています。 ・Twitter (@ca_tweet) でも情報を発信しています。 CA ポータルについて 検索の方法 英語版 CA ポータル 「災害」に関する記事のページ CA ポータル 掲載コンテンツの RSS (https://current.ndl.go.jp/rss.xml) English Articles RSS Feed (https://current.ndl.go.jp/en/taxonomy/term/719/0/feed)

1. アンケート概要

目 的 : カレントアウェアネス・ポータルの利用状況や利用者の要望を把握し、今後のサービス改善に資する

対 象 : カレントアウェアネス・ポータルの利用者

期 間 : 2021年2月1日から3月26日

調査方法 : オンラインアンケート

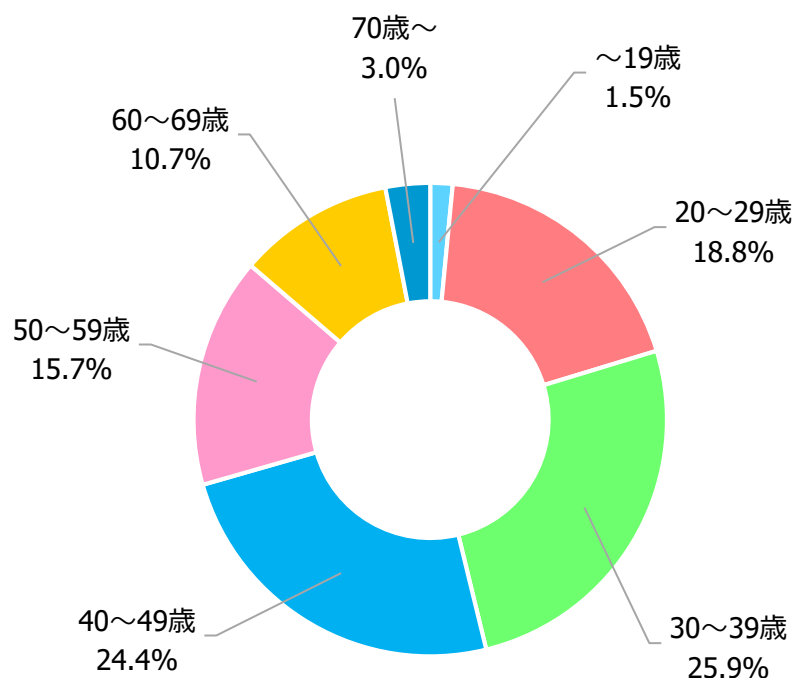
調査項目 : 利用者の属性、コンテンツの利用手段、コンテンツ毎の満足度、充実を期待するトピック、デザイン・機能についてのニーズ

回 答 数 : 197件

2. 利用者像：年齢、職業、海外からの利用、利用年数など

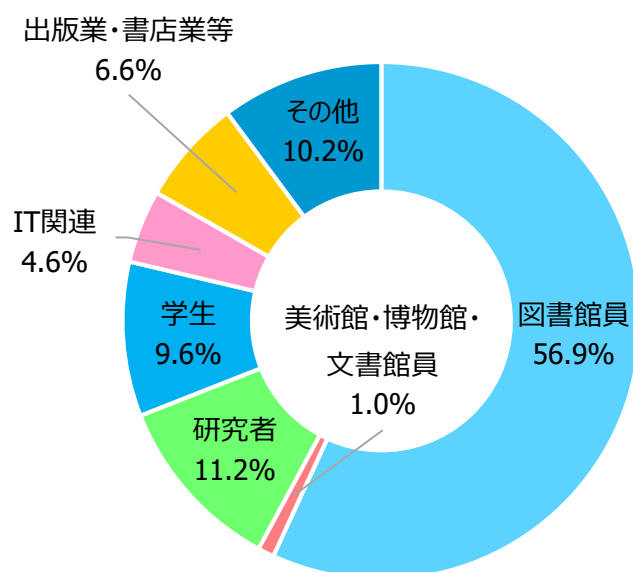
問 1 年齢を教えてください。

～19歳	3
20～29歳	37
30～39歳	51
40～49歳	48
50～59歳	31
60～69歳	21
70歳～	6
合計	197

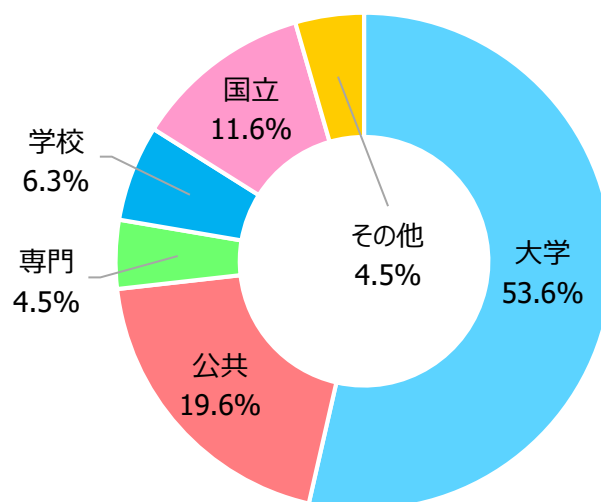


問 2 ご職業を教えてください。

図書館員(公共)	22
図書館員(大学)	60
図書館員(学校)	7
図書館員(専門)	5
図書館員(国立)	13
図書館員(その他)	5
美術館・博物館員	1
文書館員	1
研究者 (図書館情報学分野)	8
研究者 (その他の分野)	14
学生 (図書館情報学分野の 大学院生・司書課程履修)	12
学生 (その他の分野)	7
出版業・書店業等	13
IT 関連	9
その他	20
合計	197



図書館員とそれ以外の職種の比率



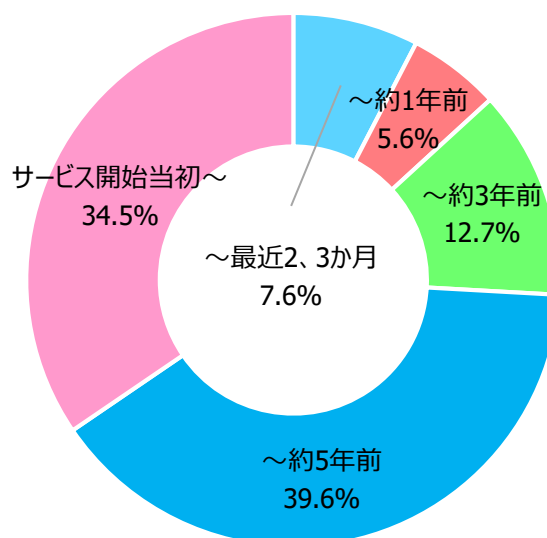
図書館員の館種別構成比 (N=112)

問 3 居住地を教えてください。

日本	193
海外	4
合計	197

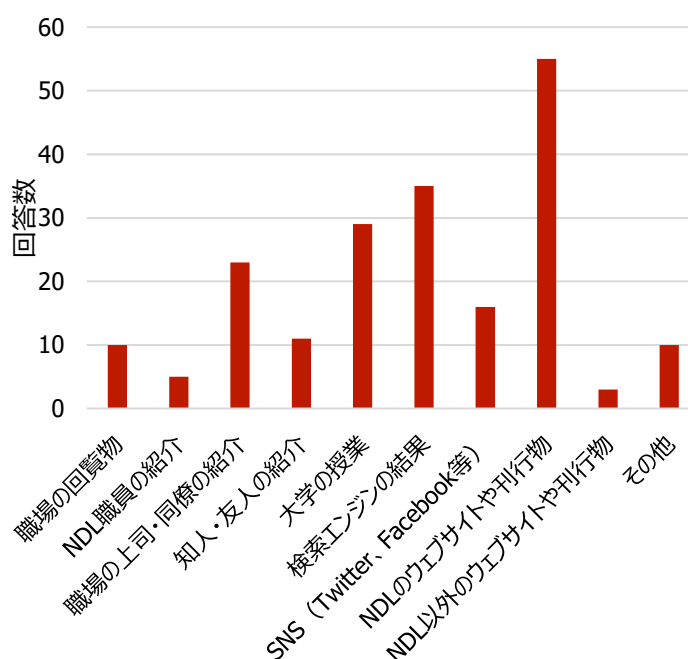
問 4 カレントアウェアネス・ポータルコンテンツのご利用を開始したのはいつからですか？

最近 2,3 か月以内	15
約 1 年前以内	11
約 3 年前以内	25
約 5 年前以内	78
サービス開始当初(2006 年)～	68
合計	197



問 5 カレントアウェアネス・ポータルを知ったきっかけはなんですか？

職場の回覧物	10
国立国会図書館職員の紹介	5
職場の上司・同僚の紹介	23
知人・友人の紹介	11
大学の授業	29
検索エンジンの結果	35
SNS (Twitter、Facebook 等)	16
国立国会図書館のウェブサイトや刊行物	55
国立国会図書館以外のウェブサイトや刊行物	3
その他	10
合計	197



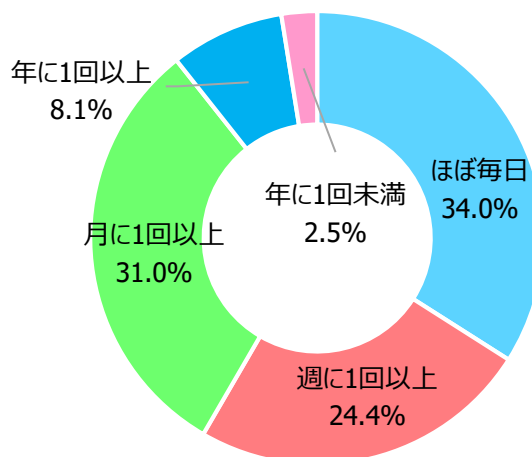
* NDLは国立国会図書館のことを指します。

「その他」の具体的内容: 司書講習、日本図書館協会のメールマガジンなど

3. どのように利用されているか（利用頻度、利用状況、利用媒体、利用コンテンツ）

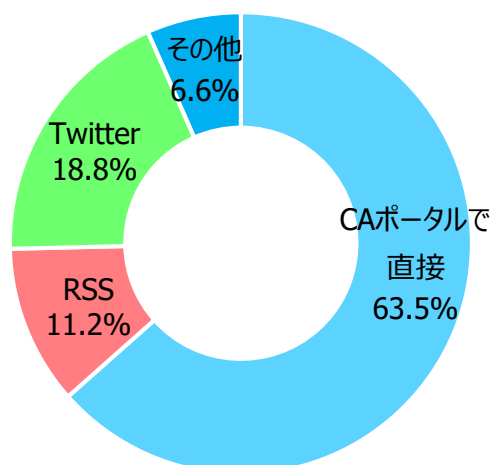
問 6 カレントアウェアネス・ポータル利用頻度はどのくらいですか？

ほぼ毎日	67
週に1回以上	48
月に1回以上	61
年に1回以上	16
年に1回未満	5
合計	197



問 7 更新情報を、主にどのような手段で把握しますか？

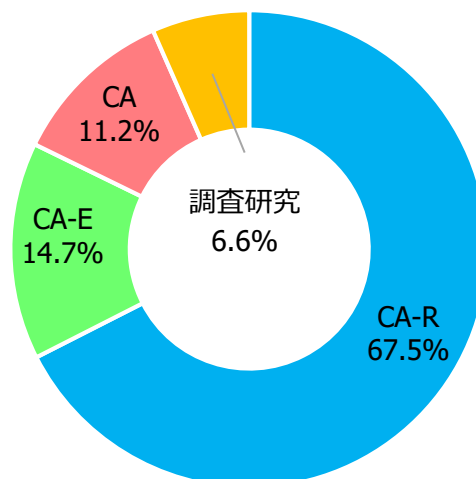
Twitter (@ca_tweet)	37
RSS	22
カレントアウェアネス・ポータルで直接	125
その他	13
合計	197



「その他」の具体的内容：社内のメーリングリスト、Jcross のウェブサイトなど

問 8 最もよく利用するのは、どのコンテンツですか？

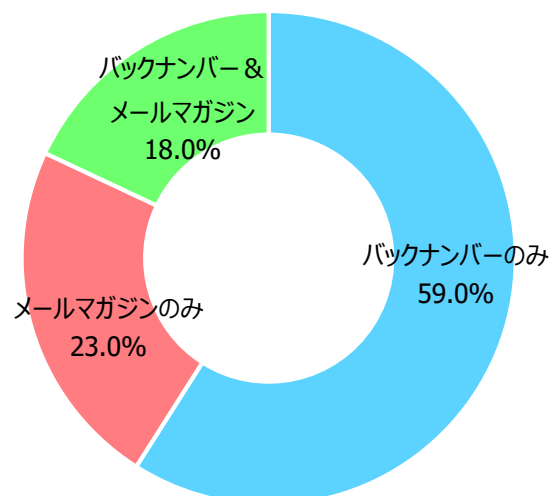
カレントアウェアネス-R	133
『カレントアウェアネス-E』	29
『カレントアウェアネス』	22
調査研究	13
合計	197



問 9 『カレントアウェアネス-E』について、記事を読む際、どれを利用していますか？

カレントアウェアネス・ポータルに 掲載しているバックナンバーのみ	95
配信されたメールマガジンのみ	37
メールマガジンとバックナンバー	29
双方	
合計	161

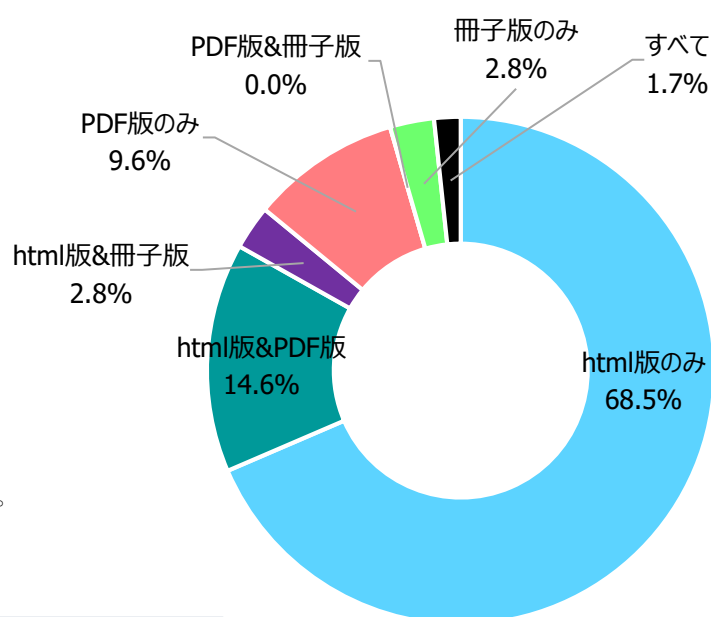
※複数回答可の設問です。



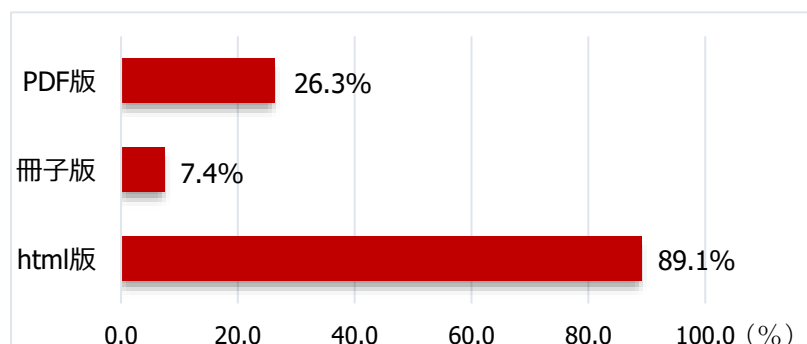
問 10 『カレントアウェアネス』について、記事を読む際、どれを利用していますか？

html 版*のみ	122
html 版&PDF 版†	26
html 版&冊子版	5
PDF 版のみ	17
PDF 版&冊子版	0
冊子版のみ	5
すべて	3
合計	178

※複数回答可の設問です。



それぞれの版の利用割合



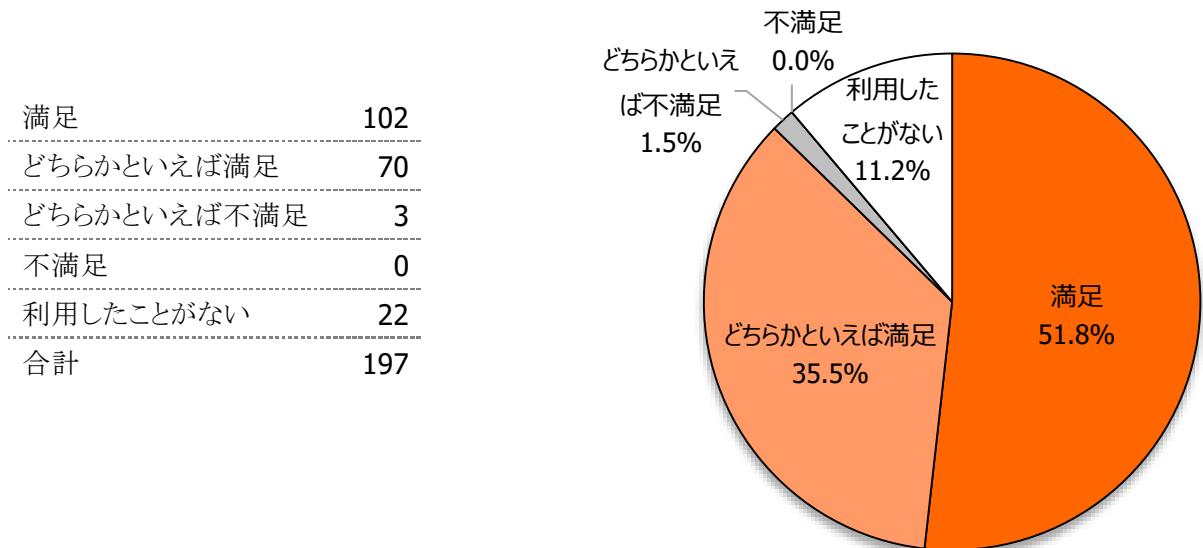
* カレントアウェアネス・ポータルに掲載しているテキストデータ

† カレントアウェアネス・ポータルや国立国会図書館デジタルコレクションから閲覧できる PDF ファイル

4. CA ポータル及び各コンテンツへの満足度

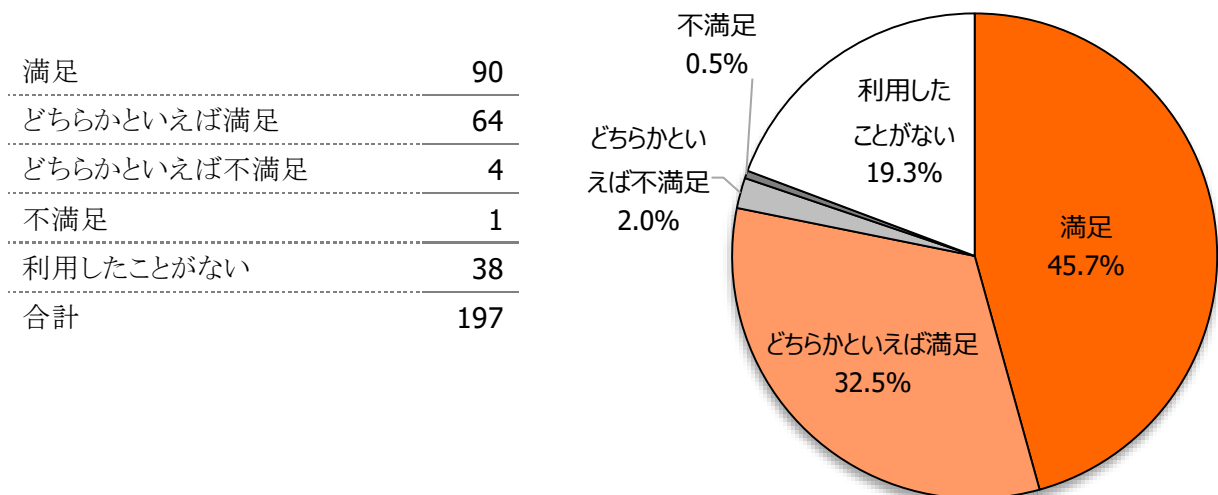
問 11. 「カレントアウェアネス・ポータル」で提供している以下のコンテンツの利用の有無と満足度を教えてください。

＜「カレントアウェアネス-R」＞



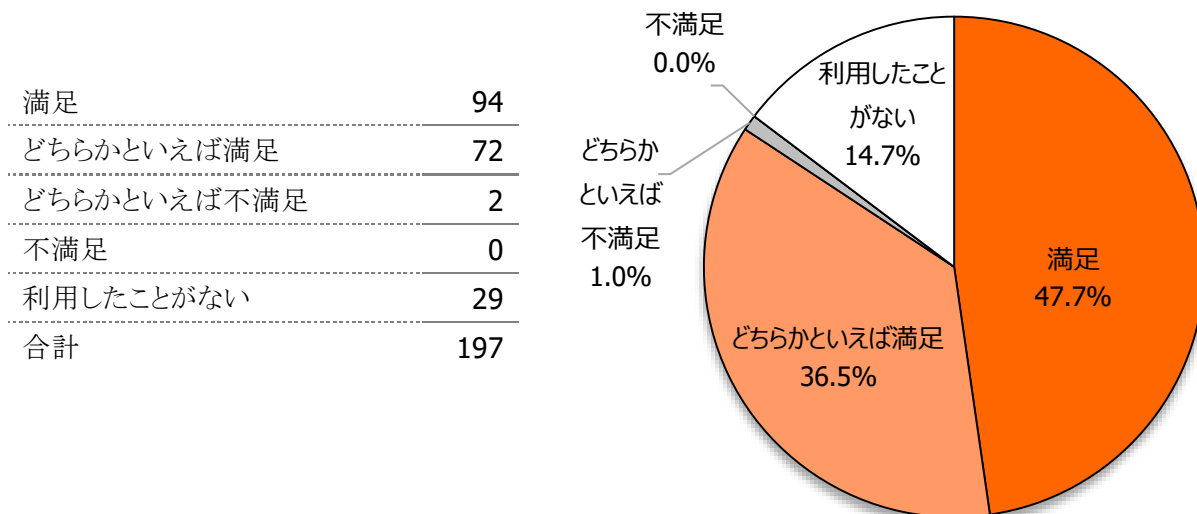
問 11. 「カレントアウェアネス・ポータル」で提供している以下のコンテンツの利用の有無と満足度を教えてください。

＜『カレントアウェアネス-E』＞



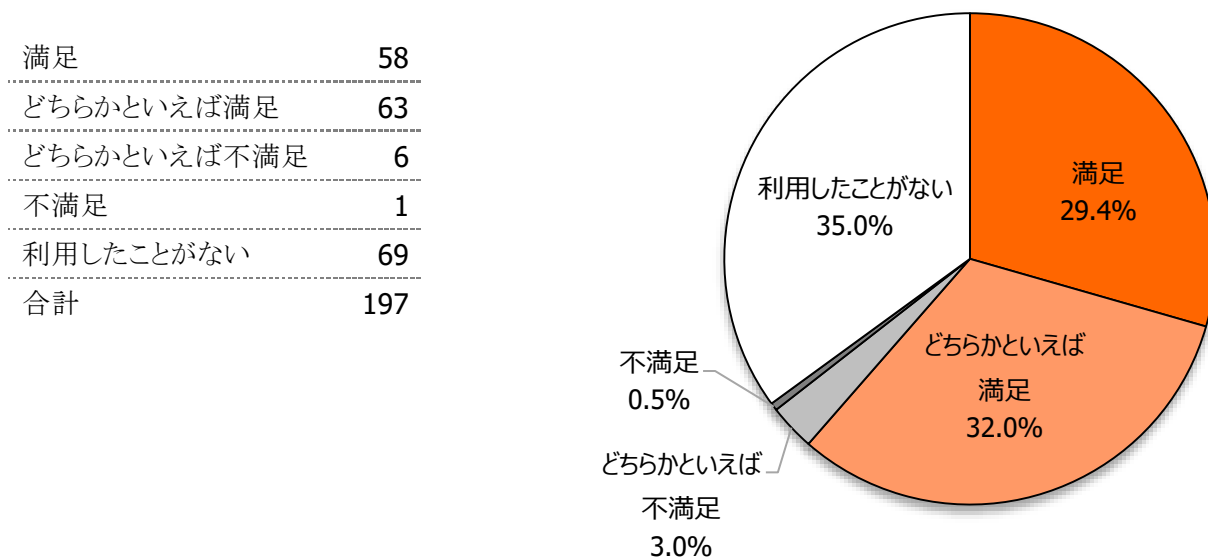
問 11. 「カレントアウェアネス・ポータル」で提供している以下のコンテンツの利用の有無と満足度を教えてください。

<『カレントアウェアネス』>



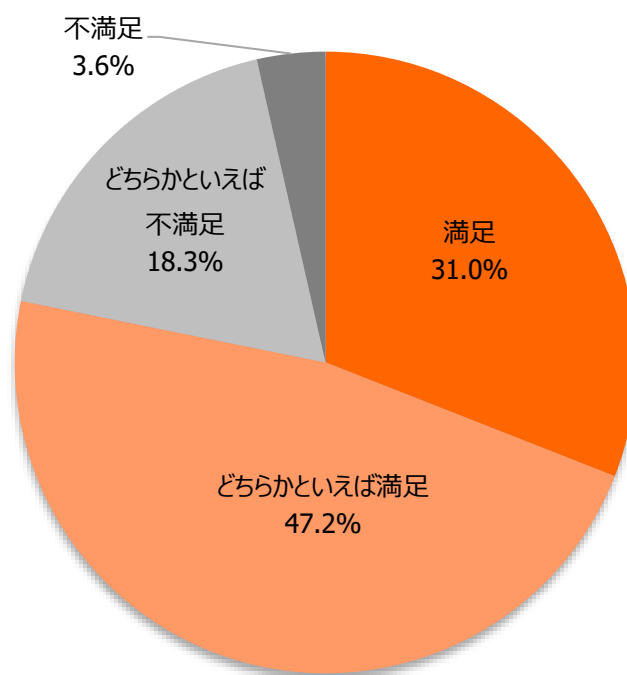
問 11. 「カレントアウェアネス・ポータル」で提供している以下のコンテンツの利用の有無と満足度を教えてください。

<「調査研究」>



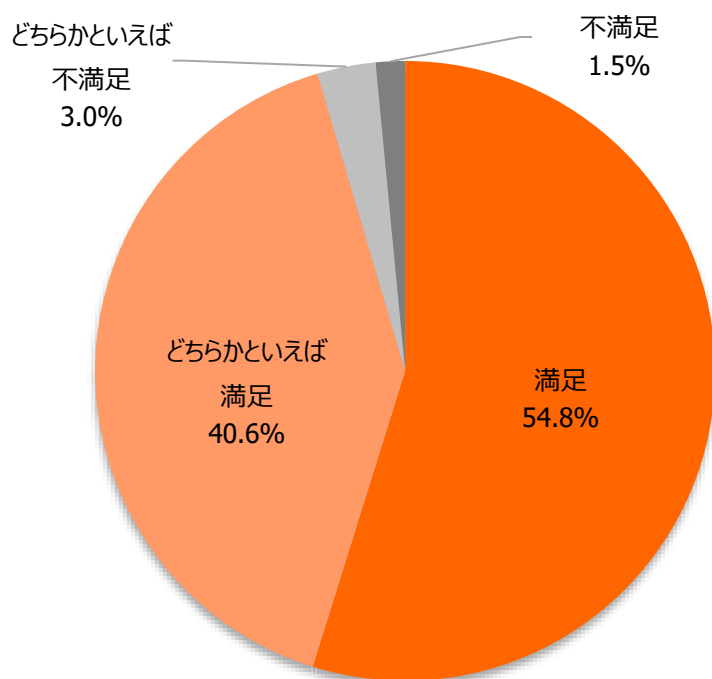
問 12 カレントアウェアネス・ポータル 웹사이트의 디자인や機能について、満足度を教えてください。

満足	61
どちらかといえば満足	93
どちらかといえば不満足	36
不満足	7
合計	197



問 13 カレントアウェアネス・ポータルの全般的な満足度を教えてください。

満足	108
どちらかといえば満足	80
どちらかといえば不満足	6
不満足	3
合計	197



5. カレントアウェアネス・ポータルへのご意見など

■コンテンツ（CA-R、CA-E、CA、調査研究）

コンテンツ全般

- CA-R、CA-E、CA の違いが分かりにくい。
- 1つの記事が少し長い、あるいは1回に掲載される記事の量が少し多いと感じる時がある。
- 記事の詳細に関する URL が多く、どれを見れば良いのかすぐには分かりにくい。
- どのような基準・判断で記事に掲載しているのかが気になる。（図書館のイベントや展示等）
- 掲載される情報は SNS で発信されているものがほとんどであり、取り上げられる機関に偏りがある。もっと現場の実践を広くみるべき。本サイトに掲載されることが目的の実践が増えてしまうことを危惧する。
- ICT 活用、ビッグデータ活用、AI 活用といった、理系・技術者系の発想、記事が不足している。
- 執筆者の図書館や資料についての基礎知識を疑うことがあった。外国の事例紹介の場合、専門用語等のチェック体制が必要ではないか。
- 専門用語の統一に留意していると思われるが、最新の用語集への拡張を検討してほしい。
- 枠を決めて投稿を受け付けるなど、執筆者の幅をもっと広げるとよい。
- 記事のヘッドラインに、どの館種に関する記事なのかが分かる記号を付与してほしい。
- 動画のリンク掲載について検討の余地があるのではないか。
- テクニカルサービスの話をまとめて読めたら便利。
- 年間でよく閲覧されたニュースをまとめて紹介してほしい。
- 他の図書館の写真を見たい。
- CA-E と CA の各記事の見出しを通覧できるようにしてほしい。例えば、年度単位で掲載記事の見出しが一覧できるとありがたい。
- 紙媒体のものは検索性が低いため基本的に利用しない。オンラインでの刊行と保存を継続してほしい。

CA-R

- 最近一記事あたりの内容が長くなっている。「一記事をじっくり詳しく」よりは、なるべく多くのトピックを掲載する方向を希望する。
- それぞれの記事が簡潔なのは良いが、一步踏み込んだ解説や考察などがあると良い。
- 大学図書館関係の取り上げ方に必ずしも整合性(体系性)がないと感じる。団体名などで検索し過去の掲載例を確認してはどうか。
- トップページにもう少し多くの項目が表示されても良い。
- 「最新ニュース」のページで、記事タイトルの下に3行ほど記事の内容を表示してほしい。
- 「一覧する」の画面では、各記事の詳細も表示されるため一瞥しにくい。「タイトルのみ表示」をデフォルトにしてほしい。
- 「最新ニュース」のページでは各記事タイトルが箇条書きで表示されるが、「カレントアウェアネス-R タイトル一覧」のページでは箇条書きになっていない。各記事タイトルの視認性を高めるため、後者でも箇条

書きにして欲しい。

- 「最新ニュース」を読み終わった後、「戻る」で次のニュースを見るのではなく、同じ画面をスクロールダウンしたらリストが表示されていて、そこから次のニュースを見ることができるとよい。医薬品業界のサイト RIS はその形式である。

CA-E

- 号単位の目次ページ同士でリンクが貼られていないので、バックナンバーを漠然と読みたいときに不便。現在は前後の記事に飛んでしまう部分を、前後の号の目次に飛ぶようにできないか。
- メールマガジンに全文を載せるのではなく、一部概要を載せて、全文はカレントアウェアネス・ポータルで閲覧してもらう方式にしてはどうか。メールマガジンの分量が減る分、最新記事以外に話題の記事なども紹介できるのではないか。
- メールマガジンの記事が、特定の文字数で強制的に改行されており読みづらい。
- RSS でカレントアウェアネス-E の更新情報を受信したのでクリックしても、ページが公開前で読めないことがある。公開されてから RSS に反映するようにしてほしい。

CA

- HTML 版において、注の番号をクリックすると注に飛べるのは良いが、本文に戻るためのリンクがないのが使いにくい。注の番号をクリックすると、本文の対応箇所に戻れるようにしてほしい。

調査研究

- 図書館調査研究レポートは年 1 回ペースの刊行だが、課題となるテーマはいろいろあると思うので、もっと増やしてほしい。行政省庁の委託調査は年間何件もやっている。
- CA ポータル上の報告書公開ページに、ページの公開日も記載するようにしてほしい。

その他

- 「東日本大震災 関連情報」について、見出しや構成を工夫してもよいのではないか。アーカイブとしての価値があることは大前提であり、ちょうど発生から 10 年の節目でもあるが、内容が古いものも多く、その後も新たな災害が起り続けている。
- 「東日本大震災関連記事」のように、コロナ関連(特に国内記事)をまとめたページを設けてほしい。

■ CA ポータルの機能・デザイン

コンテンツの見やすさについて

- 文字が小さく読むのがつらい。文字を拡大し行間を広くとれば、少し解消するのではないか。
- 赤文字が読みづらい。黒文字にしてもう少しフォントを大きくしてほしい。

- 背景が白地でないので文字が読みにくい。
- リンク部分が赤で、背景がグレーでは識別しにくい。少なくともリンク部分は通常どおり青色でよい。
- タイトル一覧画面のレイアウトが（見出しと見出しの境界が目付しかなく、ビュレットがないため）見にくい。
- 記事タイトルと記事タイトルの間に何もないので、境目が分かりづらい。

コンテンツの検索機能について

- 右上の検索窓からの検索について、複数語での検索のデフォルトが **OR** 検索なのは使いづらい。NDL オンライン同様にデフォルトを **AND** 検索にしてほしい。
- 検索語の絞り込みだけでなく、記事の詳細検索ができるようになってほしい。
- 複数のタグの掛け合わせ検索（**or** タグを対象に記事を検索する）機能があると便利。
- 期間で絞込検索できるとよい。
- 検索結果画面の右側一番上が「東日本大震災 関連情報」に占拠されているのは不適切な配置に思われる。「並べ替える」や「絞り込む」をもっと上に表示してほしい。
- 記事検索結果ページの、並び順設定の表示をもっと上の位置に移してほしい。時系列順だと思いこんでいた検索結果が、実は関連度順であったために記事を見逃したことが何度かあった。
- 記事検索結果ページの並び順のデフォルトを、関連度順でなく最新記事順にしてほしい。
- テーマ検索等においても、タイトルのみの一覧表示機能が欲しい。記事内容の一部も表示される形式と、タイトルのみを表示させる形式を設けて、切り替え表示できるようにしてほしい。
- カレンダーから検索する場合もタイトルのみ表示にできたらよいと感じた。
- 検索結果画面で、ヒット件数と並び替えの項目が右側のファセットにあるので、使いにくい。NDL オンラインのように、検索結果の上部に表示するのが一般的ではないか。
- 検索結果の表示数を増やすことができるようにしてほしい。
- 検索結果の下部に「類似の記事」が表示されるのは良い機能だが、類似していない記事でも関連がありそうならば表示して欲しい。

コンテンツの印刷機能について

- 記事部分だけが印刷できるようにしてほしい。
- 印刷用ページのロゴは、もう少し小さめにしてほしい。
- 印刷用ページのデザインがシンプルなので、見やすくなるよう色合いやレイアウト等を整えてほしい。
- 印刷用ページに調整しやすい機能を持った印刷ボタンがあるとよい。

CA ポータルのレイアウトについて

- ウェブサイトデザインがシンプルすぎて寂しい。
- ウェブサイトデザインの印象はシンプルで良いが、どこか暗い。将来性を感じさせてほしい。
- 記事のレイアウト、見出しデザイン、フォントなど紙面の印象が素人の手作りサイトなのか、と誤解するくらい読みづらい。

- 右上に「CA-R」「CA-E」「CA」「調査研究」の切り替えタブがあるが、左上の方が使いやすい。
- 新着記事をジャンル別に分けるタブがほしい。
- 各記事のサイドカラムが邪魔。あまり利用されていないなら、シングルカラムにして欲しい。
- ブラウザのウィンドウ幅を狭めるとカラムが下に行き文字表示が大きくなる(フレキシブルな)デザインについて、変更の基準となるサイズをもう少し小さい幅に変更してほしい(現在よりも細い幅になったときにデザイン変更するようにしてほしい)。
- ウェブサイトの横幅は、今より広げても良いのではないか。ディスプレイ解像度 **1920×1080** の PC で閲覧すると左右にかなり空白ができるので、その空間が勿体ない。

その他

- (CA ポータルのマスコットキャラクターである赤い猫の)カレンちゃんを活用してほしい。以前、カレンちゃんのペーパークラフトを配布していたように思うが、CC-BY で、ブックカバーやうちわ、クラフトを配布し、広報に努めてほしい。
- ロゴの視認性が高いとはいえない。覚えやすくお洒落なものへリニューアルを検討してはどうか。
- 外部リンクを開く際に、別ウィンドウで開く設定にしてほしい。
- SNS で共有しやすくなるよう、ウェブサイトに OGP を設定して欲しい。
- 記事のブックマーク機能がほしい。
- 記事のコピー＆ペーストがしづらい。
- 図解で分野・キーワードを表すデザインがあると、短時間で理解ができ、幅広い層に利用できると感じる。
- All Rights Reserved.と copyright は法的にも意味がなく不要である。©だけで良い。

■扱うテーマ・トピック

- 日本における ISMN(国際標準楽譜番号)や RILM(音楽文献目録)の現状
- 海外の学術出版社(エルゼビア、シュプリンガー、ワイリー、テイラー&フランシスなど)の動向や、新しいタイプのジャーナルの動き(アイデアジャーナル、registered reports、F1000Research の公開査読プラットフォームなど)
- ICT 活用、データ利用、AI 活用など理系の視点からのテーマ、トピック
- 大学入学共通テストや新学習指導要領の実施により読解力や思考力が重視されることになったが、読解力の育成について学校図書館でどんな取り組みができるか知りたい。探究学習はもちろん、教科ごとの授業支援の方法も知りたい。
- 新学習指導要領について、国語科で「論理国語」導入など特に大きな変化があった。諸外国ではどのような言語教育が行われているのか知りたい。
- 「読まない人にいかに読んでもらうか」という取り組みについて、よりスポットを当てていくべき。
- 日本の図書館の問題点、どこに向かっているのか？どこに向かうべきなのか？利用者は何を求めているのか？国民は何を求めているのか？無料貸本屋ではない図書館とは？地域格差について、紙の本の必要性、浮浪者来館の問題、老人の居場所、学生へ試験勉強のための場所提供は図書館のあるべき姿なのか？新型コロナウイルスなど感染症に対する対策。
- データに対して付与する DOI に関係した情報(DataCite の活動や PID graph など)
- 図書館を舞台にした漫画や小説、図書館情報学系の新刊書籍の紹介記事
- 図書館情報学系の研究者のインタビュー
- 海外の国立図書館や、電子図書館事業(デジタルアーカイブ)の取組みの紹介
- 海外の納本制度、オンライン資料収集制度、ウェブアーカイブ、その他放送、映画、動画等のアーカイブの最新情報の紹介
- 中国の動向
- 大学図書館システムでの電子資料の管理
- 国内外の図書館、図書館システム等の動向
- 図書館隣接分野の資源収集(アーカイブズや美術館・博物館)
- 大学図書館情報。UDL や SDGs、セミナー開催の情報など。
- 国会図書館の刊行物である「調査と情報-Issue Brief-」に類似するものを刊行したりホームページ上に掲載している他の図書館があれば、その作成方法や利用者の声などを含めて紹介してほしい。議会向けだけでなく、一般向けや学生向けのものも知りたい。
- オープンサイエンスの最新動向
- MLA 連携
- デジタル媒体での読書の効果に関する調査研究
- 「認知症にやさしい図書館」
- 電子ジャーナルの関連。各出版社や各国、各大学の契約動向。
- 図書館情報学はもちろん、隣接領域の研究者(人文科学なども含めて)や現場の図書館員の知見
- 図書館サービスの各国比較や、海外の都市単位でのサービスの紹介

自由記述では、特に CA ポータルの機能・デザインに関し多くのご意見・ご要望をいただきました。現在の機能・デザインに不満はないとのご意見も複数いただいた一方、コンテンツの見やすさや検索機能を中心に改善のご要望が目立ちました。

CA ポータルの機能に関するご要望の中には、次の 2 点も含まれていました。いずれも機能としては実装済みのものですが、そのことが分かりづらいため、ご要望をいただいたと考えています。既存の機能についても、より分かりやすく、使いやすくなるよう改善を検討いたします。

ご要望	回答
イベント記事は別タブを設けて表示してほしい。	タグ「イベント」を設けており、イベント記事に付与しています。次の URL から、タグ「イベント」が付与された記事のみを一覧できます。 ○タグ「イベント」が付与された記事一覧 https://current.ndl.go.jp/taxonomy/term/702 ※イベント記事のみ別にタブを設けて表示してほしい、とのご要望でしたら、そちらは現在提供していない機能となります。
ランキングだけでなく、各記事のページにも総アクセス数が表示されると、読者にとっても指標になる。	各記事のページの左下に、「参照（）」という記載を設けています。括弧内には数値が入っていますが、この数値がアクセス数となります。

ここまででご紹介したご意見・ご要望のほかに、ご感想やあたたかい応援メッセージも多くお寄せいただきました。アンケートにご協力くださり、誠にありがとうございました。

いただいた貴重なご意見は、今後、CA ポータルをより充実させるために活かして参ります。引き続き、CA ポータルをどうぞよろしくお願いいたします。